

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 篠井 哲治

- I 開催年月日 令和 3 年 9 月 16 日（木）
II 会議時間 午後 1 時 35 分～午後 1 時 45 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎篠井 哲治 ○中村 清志 坂林 永喜
金平 直巳 樋詰 和子 水口 清志
金森 一郎 高畠 義一
(◎…委員長 ○…副委員長)
[説明員] 別紙名簿のとおり
[委員外議員] なし
[事務局職員] 西本 幸夫 宮崎 篤生 堀田 寛之
[傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

議案第 117 号 令和 3 年度高岡市一般会計補正予算（第 6 号）のうち本委員会所管分

以上、議案第 117 号のうち本委員会所管分は、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○、答弁内容は △ で表示）

【議案第 117 号のうち新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業費について】

- 前年度又は前々年度の売上高に応じて協力金を支給することだが、各支給額の店舗数の見込みは。
△ 県の推計に基づき、対象店舗を概ね 900 から 1000 店舗と想定するなかで、支給額別の店舗数は、10 万円が 300 台、20 万円が 500 前後、30 万円が 100 前後と見込んでいる。
○ 給付金の支給手続きが煩雑で支給が遅れることがないよう、今回の協力金については、手続きを簡素化すべきと考えるが、見解は。
△ 今回の上乗せ給付について、県の枠組みを基準として制度設計し、迅速な審査を行うこととしており、早く支給することが、この制度の効果を高めると考えている。

- 資金繰りの支援になることから、制度をしっかりと周知すべきと考えるが、見解は。
- △ 現在、対象となりうる店舗の抽出を進めており、それらの店舗に対して、まずは文書等で情報が届くようにするとともに、それ以外の情報ツールも活用し、制度の利活用について、周知を進めていきたい。
- 市長会等を通じて、地方創生臨時交付金の増額を国に要請すべきと考えるが、見解は。
- △ 経済回復に向けての歩みをしっかりと進めていかななくてはならない中で、今後、様々な支援が必要となってくることから、機会を捉え、国・県に対して、財源の担保をお願いしていきたい。そして、本市としても、経済回復のために、できる限りの支援に取り組みたいと考えている。
- 申請から受給までに何日かかると想定しているのか。
- △ 概ね10日から2週間以内を目途としており、迅速に手続きを進めたいと考えている。
- 1週間を目途に支給できるようにしてほしい。(要望)

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（3名）

[illegible]